



医療安全管理室

医療安全管理室.....P180

病院概要

統計

臨床指標
質評価指標

診療部

診療補助部

看護部

事務部

地域医療
サービスセンター

医療安全
管理室

人材開発室

人間ドック・健診部

菊名記念AA
クリニック

YMG在宅支援
総合センター

学会・研究会・
誌上発表

会議・
委員会一覧

くたかけ会

[医療安全管理室]

医療安全管理室

室長 新村 美佐香

1 業務体制

医療安全管理室はGRM(医療安全統括責任者)1名、医療安全担当医師(クオリティマネジメント部部长)1名、医療放射線安全管理責任者(放射線科医)1名、医療安全管理者(専従)(看護師)1名、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、看護部、事務部門から選出された9名が中心となり、日々の業務を行っている。医療安全管理室会議を定期的開催し、医療安全推進委員会、医療安全管理委員会に対し、安全に関する情報の提供を行うとともに病院全体の安全管理に関する助言や指導を行っている。

●人員構成(2023年4月1日~2024年3月31日)

GRM: 院長

医療安全担当医師(クオリティマネジメント部部长)1名

医療安全管理室室長(専従医療安全管理者): 看護師1名

医療放射線安全管理責任者(放射線科医)1名

医療機器安全管理責任者1名 医薬品安全管理責任者1名

看護部2名 総務課(事務)1名

*討議内容により、患者相談窓口担当者1名、物流管理課スタッフ1名参加

2 業務内容

医療安全管理室会議を定期的開催し、病院全体としての組織的な安全体制を構築し、リスクの把握、分析、対処および評価を継続的に行っている。

また医療安全ラウンドを通して、医療安全対策が現場でどのように実践されているか確認を行うとともに、医療安全に対する認識の向上を図るため日々働きかけを行っている。

3 業務状況

- ・日々提出されるインシデント・アクシデントレポートの集計及び現場へのフィードバックを行っている。状況によっては発生部署に出向き、関係者等から直接ヒアリングを行い事象の確認を行うとともに再発防止策について助言を行う。複数部署が関わって発生したインシデント・アクシデント事例に関しては、部署間の調整を行っている。
- ・定期的に院内ラウンドを実施し、委員会にて各部署にフィードバックを行い、安全な職場環境の整備、5S活動の推奨に努めている。
- ・医療安全に係わる情報を収集し、院内に発信している。
- ・医療安全に関わる講習会や研修の企画、運営により、医療安全教育向上につなげている。
- ・リスクマネージャーを育成するために、リスクマネージャー教育研修の企画及び実施を行っている。
- ・事故発生時は、タイムリーな情報収集と情報発信を心がけており、院内周知徹底のためにリスクマネジメント通信の発行を行っている。
- ・医療事故調査制度に届け出の可能性がある事案が発生した場合、マニュアルに沿って対応を行っていく。現場保全の必要がある場合は、保全内容の指示を行うとともに、速やかに院内事故調査委員会開催の調整を行う。

- ・患者相談窓口で受けた苦情・クレームに対し、患者相談窓口担当者(まごころ課)と密に連携を図り対応している。主に診療上の問題に関する場合は、医師からの状況の確認なども踏まえ、積極的に介入するようにしている。
- ・医療安全対策地域連携加算に係る相互チェックの企画・実施を行い、連携施設との連携を図っている。

4 特に力を入れたこと

- ・安全に関する情報の発信と共有に関すること
- ・インシデント・アクシデントレポート新システムの導入
- ・インシデント・アクシデント報告を促すための職員への働きかけ(特にレベル0,1の報告件数増加を目指すとともに、報告部署にばらつきがないように全部署へ報告の働きかけを行う)
- ・インシデント・アクシデント事例に関する事実の確認、再発防止策に対する部署間の調整および助言、指導
- ・医療安全に関するマニュアルの見直し、整備
- ・医療事故調査制度に対する対応
- ・医療安全研修出席率向上への働きかけ
- ・医療安全強化月間成功のための働きかけなど
- ・KYT・5S活動の浸透
- ・医療安全対策地域連携加算に伴う相互チェックの企画・実施
- ・画像診断結果報告見落とし防止への取り組み
- ・まごころ課との連携による患者相談対応

5 今後の課題

今年度インシデント・アクシデントレポートの報告件数は、4190件であった。6月にインシデント・アクシデント報告システムを変更したこともあり昨年度より約400件減少したが、年間4000件越えの報告がなされていることは評価できる。また報告内容については、レベル0,1の報告が昨年度同様多く報告されており、全体の90%近くを占めるまでになった。このことはスタッフのインシデント・アクシデント報告に対する認識の高さによるものであり、報告する文化が根付いてきていると考えられる。今後もこの状況を維持・継続していけるよう取り組んでいければと考えている。

「5S」「KYT」の取り組みは継続的に行っており、一部で成果は見られるものも全体ではまだ進んでいない部分もあるため、引き続き取り組んでいけるよう働きかけを行っていく。今年度は昨年度に引き続き、リスクマネージャー研修、次世代リスクマネージャー研修を実施することができた。研修参加者からも継続して実施していく必要性の声が多く聞かれたため、次年度も医療安全管理室で企画し有意義な研修につなげられればと考えている。引き続き、感染状況を見ながら実施していければと思う。